

三馬作
云色潮車觀合卷

^ 13
3777





三馬作
國貞画

艶
谷奏

五色津来

福
吉妻

門へ13
號3777
卷

傳奇十種之式

阿妻八郎兵衛 阿傘六郎兵衛

狂心奏

式亭三馬戲作
歌川國貞画圖

發客書鋪仙鶴堂閣市

江戸通油
町喜林仙
鶴堂閣市
喜右衛門

憐香伴傳奇卷上

第一齣 破題

湖上笠翁編次
玄洲逸叟批評

西江月末上真色何曾忌色真才始解憐才物非同類自相

猜理本如斯奚怪 奇妬雖輸女子癡情也讓裙釵轉將妬

猶作情胎不是尋常癡派云

ト院本の本文三枚より後より獨案と稱して、唐山湖上の季筆、日本平安の物語、義和漢一雙の見た古今來作者の魁首たる事、奇の文の巧なるを、筆の性、言の精、筆の及ぶる句、瓜吐き人の用、字と用ひ、人の摹、情と摹、人の描き、態と描き、それらをして、盲蛇、その不師、在下、の、あつた、米櫃の底も想像、是非、筆と採る、傾く、五色、潮來、合、作者の意、早、竟如何、這箇題目、俗、媚、愛と、云、

文化十四年丁丑孟春

式亭三馬戲題





舞臺の
 の舞味
 かまひ
 うまひ
 たのむ
 むらり
 むらり
 呼駒下駑の呵囉々喝
 遠慮さん
 腰から
 下へ
 什磨生
 女
 一物
 ふも

前大徳利
 式亭三馬曳狂讀の

大磯の妓樓
 山口巴屋の小二はやあいの金蔵

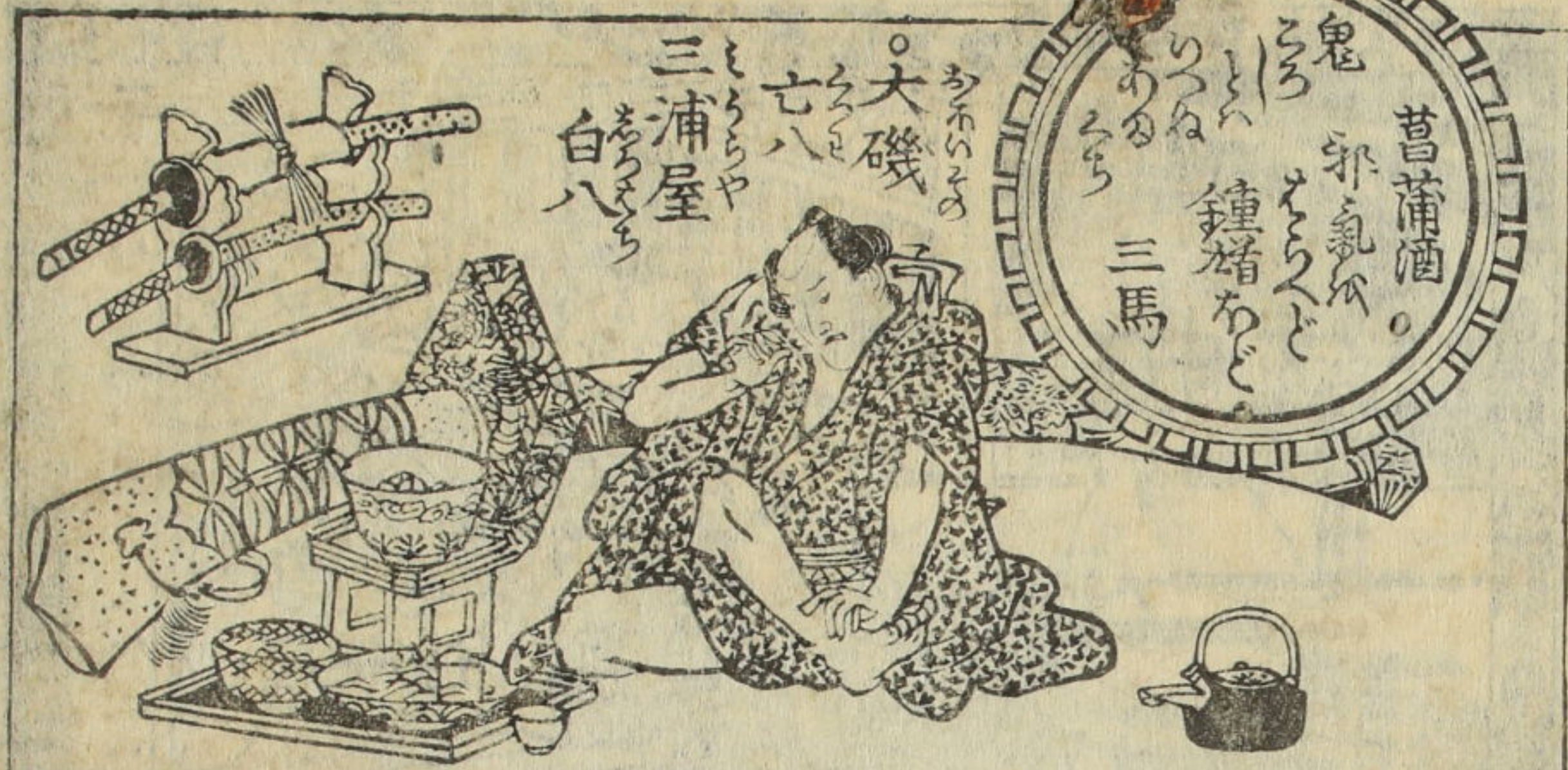
相列
 小田
 原の
 米商人
 丹波屋
 工左衛門
 養子
 榮三郎



如何祖師西来意九半面壁
 ち客と破るくわく破る身ハ芦の葉の夫あつた
 うさろ一ちた川竹の流小亭の真室の色客ハの
 標めく不立文字のまればあつた
 直指人心のゆひまきあり
 以心傳心の格子頭
 見性成佛の床の内
 本末
 心外秘別法
 不通
 悟り
 悟り
 柳巷花街
 翠帳紅圍
 花

大磯
 三浦屋
 遊女
 古

拾遺
 後
 太夫
 今古



甲斐の國 ちろきん
はるの郡で のちん
とつ 繪の 黄菊
三馬 梅

○栄三郎が舎兄
吉里良助

○番傘の
お傘

○細市場の
お市

○七里が濱
お七

○鐵倉
お鉄



○古手屋乃
中島お市

○お袖が實

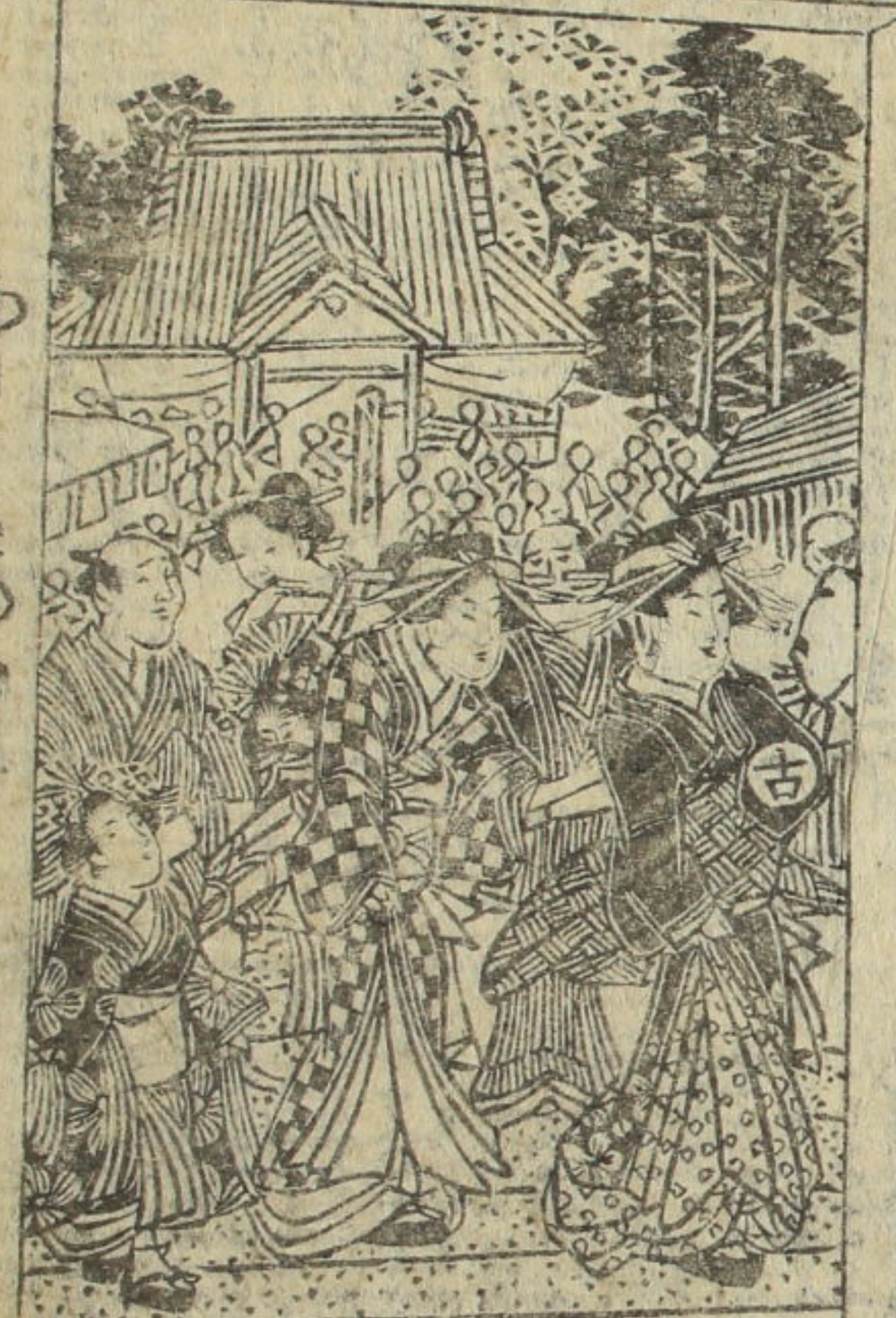
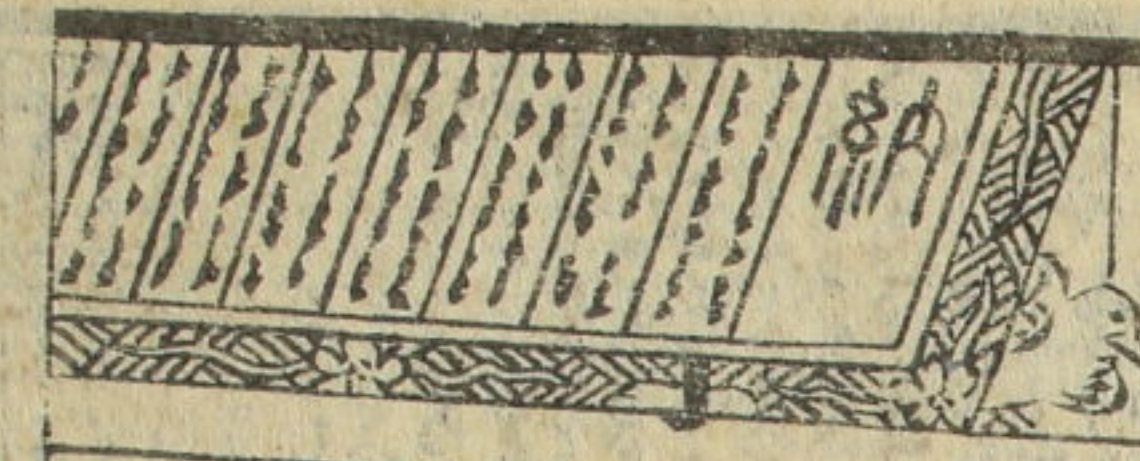


かきぎの橋も
今もつははるあ
むうも柄乃
星のまゝみ味小
三馬

○小田原乃

○丹波屋の至管六郎兵衛
古手屋八郎兵衛

米問屋
丹波屋
工
門衛



左の者より
 右の者まで
 一列の男
 女が
 歩み
 出で
 居る
 所
 だ
 ら
 ぬ
 一
 列
 の
 男
 女
 が
 歩
 み
 出
 だ
 る
 所
 だ
 ら
 ぬ

日夕並や田を之圍乃外あり其角

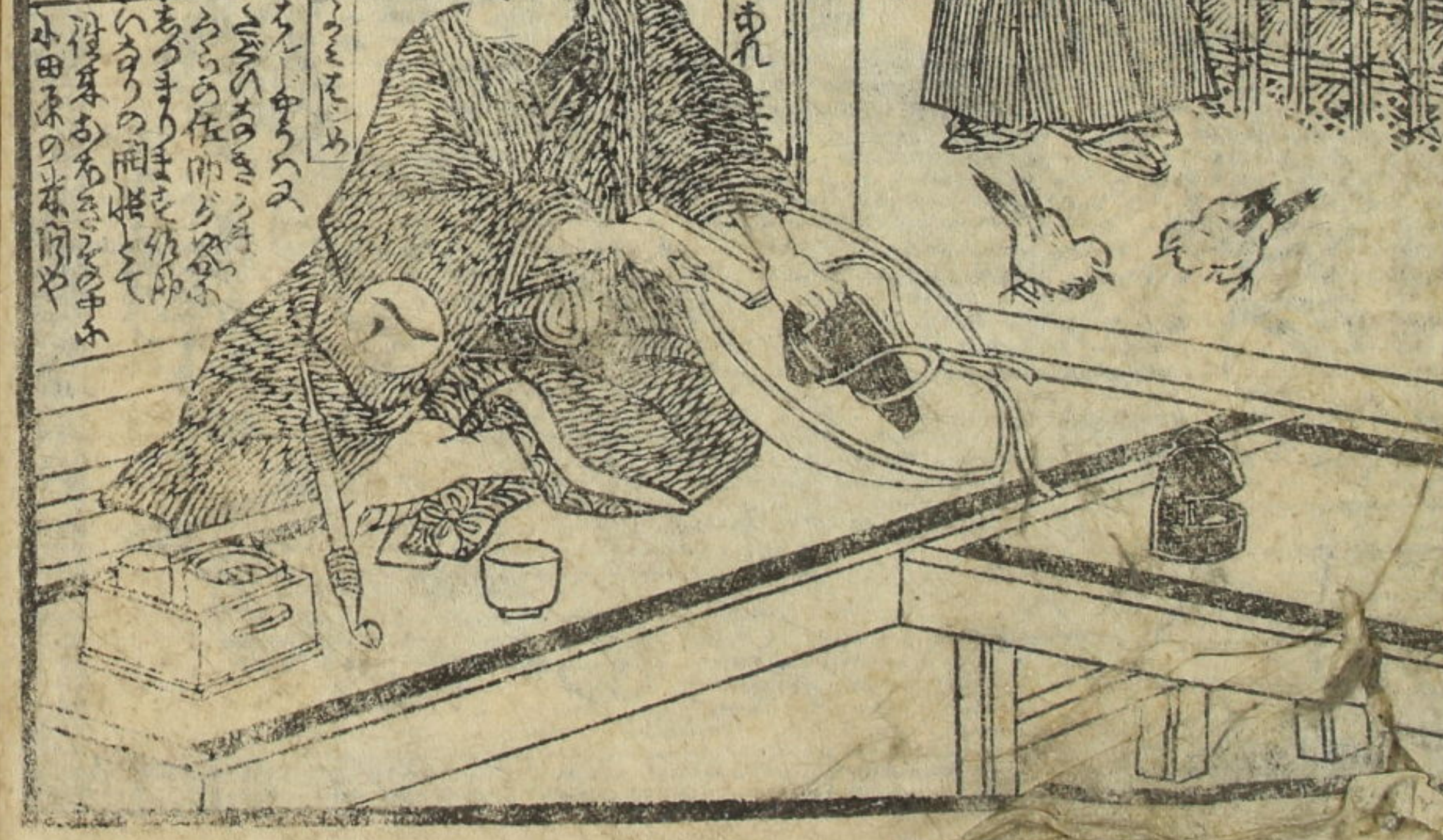


た
 だ
 一
 人
 の
 言
 は
 せ
 ら
 せ
 ば
 男
 の
 言
 は
 せ
 ば
 女
 の
 言
 は
 せ
 ば
 色
 の
 出
 だ
 る
 所
 だ
 ら
 ぬ



神植のまはしに...

左の者より
 右の者まで
 一列の男
 女が
 歩み
 出で
 居る
 所
 だ
 ら
 ぬ



五世 柳家 訖合巻
 全三冊 文化十四十五
 年 益春 謹記



開帳

この巻のあらまし
今巻のあらまし
百巻のあらまし
この巻のあらまし
今巻のあらまし
百巻のあらまし

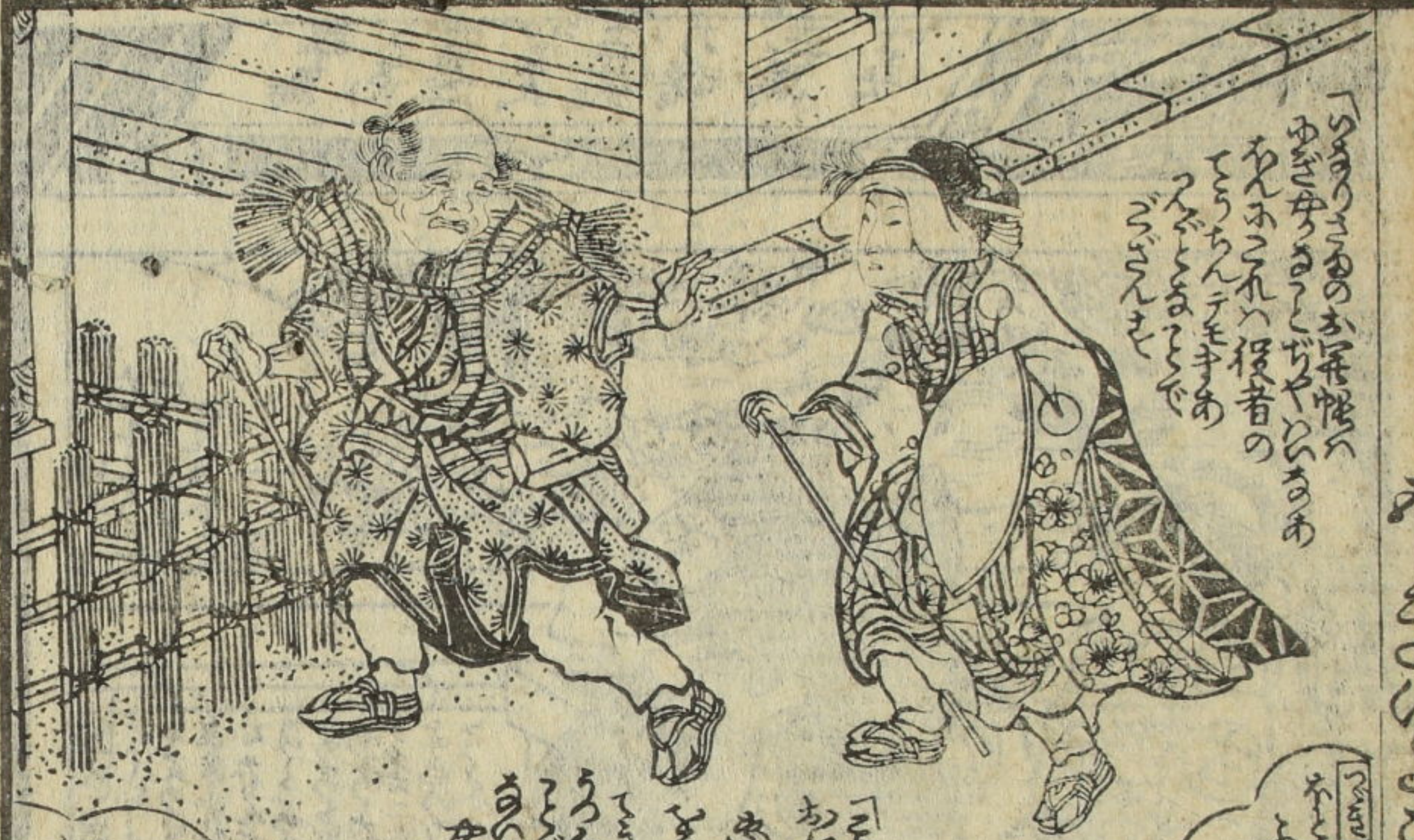
この巻のあらまし
今巻のあらまし
百巻のあらまし

この巻のあらまし
今巻のあらまし
百巻のあらまし

この巻のあらまし
今巻のあらまし
百巻のあらまし

この巻のあらまし
今巻のあらまし
百巻のあらまし

この巻のあらまし
今巻のあらまし
百巻のあらまし



この巻のあらまし
今巻のあらまし
百巻のあらまし

この巻のあらまし
今巻のあらまし
百巻のあらまし
この巻のあらまし
今巻のあらまし
百巻のあらまし
この巻のあらまし
今巻のあらまし
百巻のあらまし
この巻のあらまし
今巻のあらまし
百巻のあらまし



此の書は...
 文政十四年...
 武庫三馬作...
 五色潮来艶合奏...
 世事...



此の書は...
 文政十四年...
 武庫三馬作...
 五色潮来艶合奏...
 世事...

此の書は...
 文政十四年...
 武庫三馬作...
 五色潮来艶合奏...
 世事...

此の書は...
 文政十四年...
 武庫三馬作...
 五色潮来艶合奏...
 世事...

文化十四年春新版柳史目録 本問屋

醒齋山東京傳隨筆

骨董集

上編 前帙二冊 去九戌ノ冬出来

同

上編 後帙二冊 去九亥ノ冬出来

同 中編四冊 同 下編四冊

毎年二冊ツて發行

同

雜劇考 初編二冊 古馬古圖とありの考いかり

遠模様判官負全冊

打掛變換治

五色潮来艶合奏

世事

武庫三馬作

...



招 姿

おきよ
お傘
お六
お房

五色

素
艶

艶
合

三馬作

中

奏

國貞画

全六冊

文化
春丑丁

鶴喜板



相撲最手
妹背山
芳之助

揚お撲。
小袖とらな手。
三馬

五色朝来
艶合奏
中編

儒鶴書堂梓

三馬著 國貞画



五色朝来

艶合奏

中編



一、おのれに
 二、おのれに
 三、おのれに
 四、おのれに
 五、おのれに
 六、おのれに
 七、おのれに
 八、おのれに
 九、おのれに
 十、おのれに

一、おのれに
 二、おのれに
 三、おのれに
 四、おのれに
 五、おのれに
 六、おのれに
 七、おのれに
 八、おのれに
 九、おのれに
 十、おのれに

一、おのれに
 二、おのれに
 三、おのれに
 四、おのれに
 五、おのれに
 六、おのれに
 七、おのれに
 八、おのれに
 九、おのれに
 十、おのれに



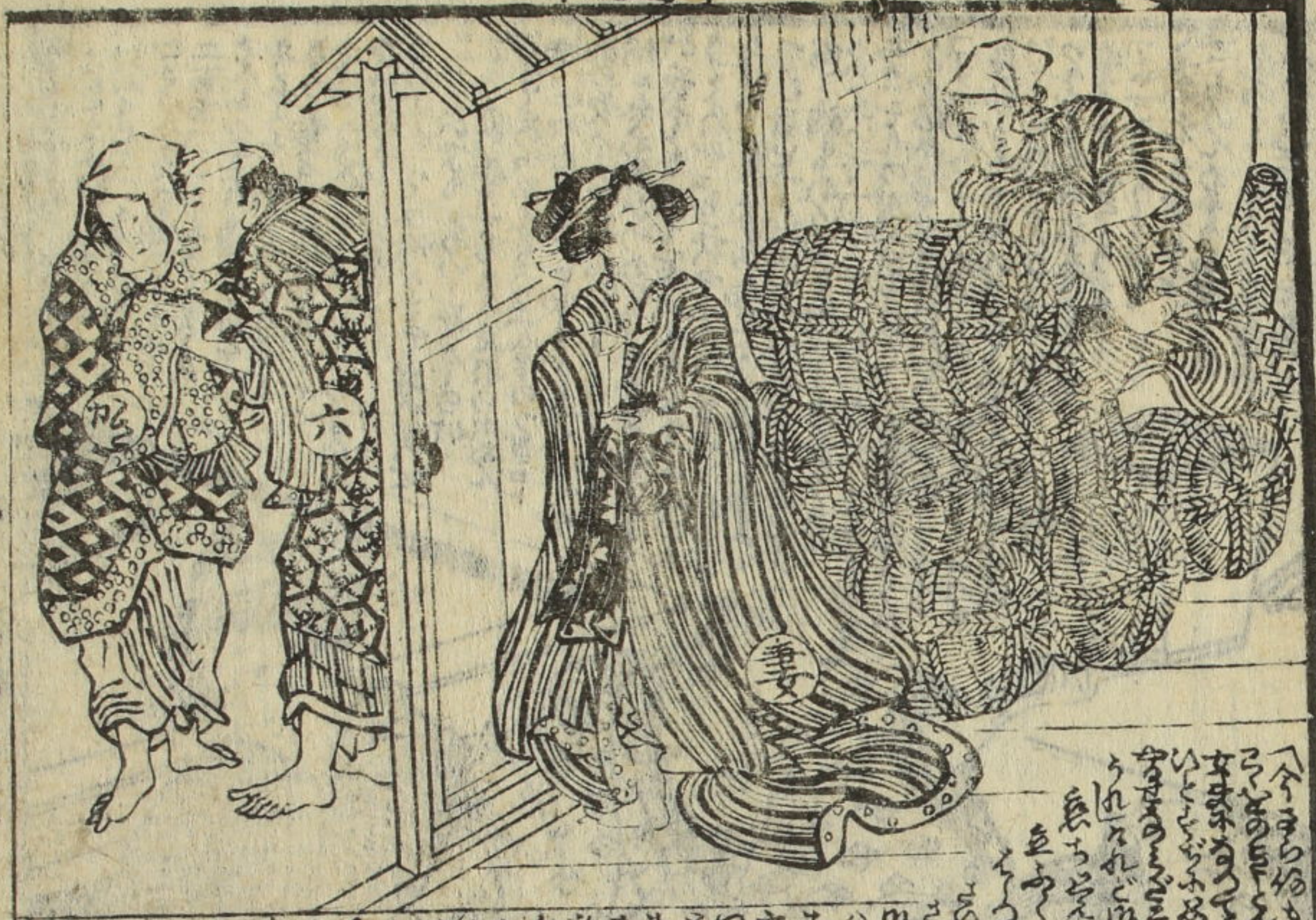
一、おのれに
 二、おのれに
 三、おのれに
 四、おのれに
 五、おのれに
 六、おのれに
 七、おのれに
 八、おのれに
 九、おのれに
 十、おのれに

一、おのれに
 二、おのれに
 三、おのれに
 四、おのれに
 五、おのれに
 六、おのれに
 七、おのれに
 八、おのれに
 九、おのれに
 十、おのれに

一、おのれに
 二、おのれに
 三、おのれに
 四、おのれに
 五、おのれに
 六、おのれに
 七、おのれに
 八、おのれに
 九、おのれに
 十、おのれに





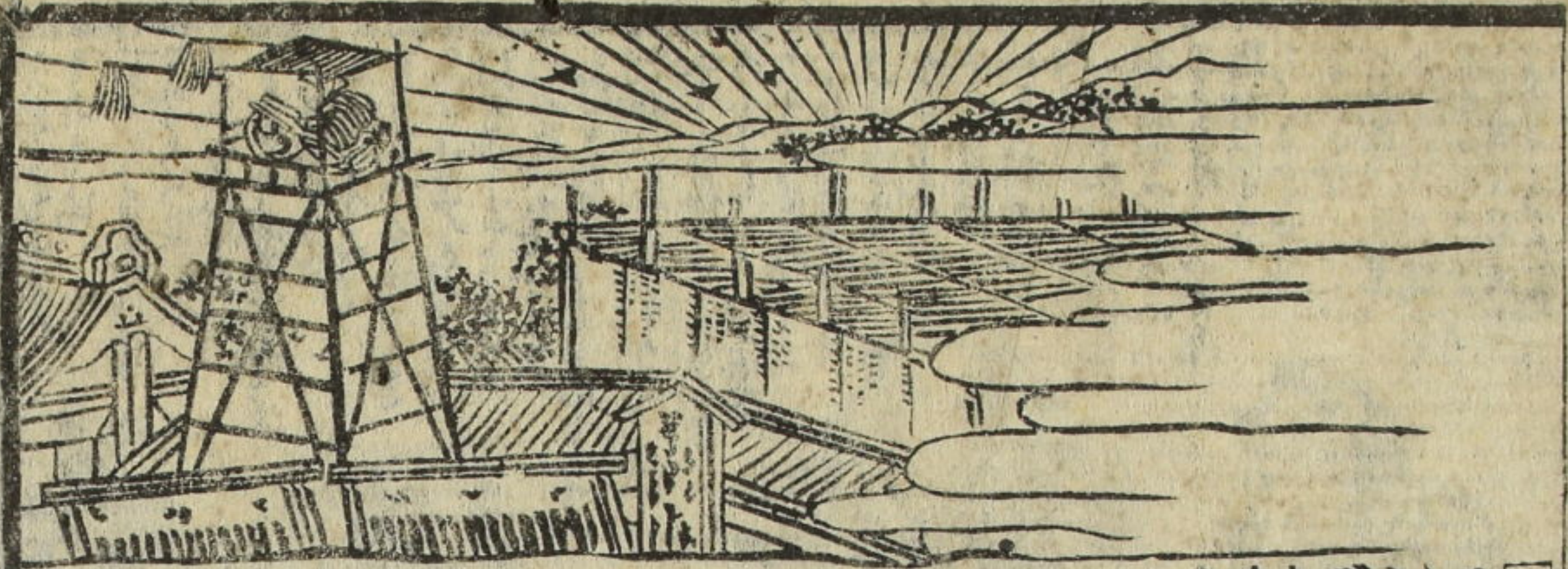


Vertical columns of handwritten Japanese text, likely commentary or a play script, located below the illustration on the left page.



Vertical columns of handwritten Japanese text, likely commentary or a play script, located below the illustration on the right page.





文化十四丁丑春新版神史目録
 本問屋 江戸通油町 鶴屋喜右衛門
 醒齋山東京傳隨筆
 骨董集 上編 前帙二冊 去々成々冬出来
 同 上編 後帙二冊 小春冬出来
 同 中編四冊 同 下編四冊 毎年二冊ツゞ此行
 雜劇考 初編二冊 古馬古圖とあつめ考(とかけ)
 曲亭馬琴作
 模倣判官負金六冊
 式亭三馬作
 五色潮来艶合奏全六冊
 世事第一車
 振鷺亭作
 掛寶療治
 又のまゝ
 つづく

文化十四丁丑春新版神史目録

本問屋

江戸通油町

鶴屋喜右衛門

醒齋山東京傳隨筆

骨董集

上編 前帙二冊

去々成々冬出来

同

上編 後帙二冊

小春冬出来

同 中編四冊

同 下編四冊 毎年二冊ツゞ此行

雜劇考 初編二冊

古馬古圖とあつめ考(とかけ)

曲亭馬琴作

模倣判官負金六冊

式亭三馬作

五色潮来艶合奏全六冊

世事第一車

振鷺亭作

掛寶療治

又のまゝ
つづく



大利

下

お傘
お三郎

おはま
お三郎

大吉

五色
艶合奏

三馬作
國貞画

金六冊

板喜鶴

春

大正



五
 仙鶴堂
 門板
 大郎
 下編
 歌八國身運
 式部三馬作

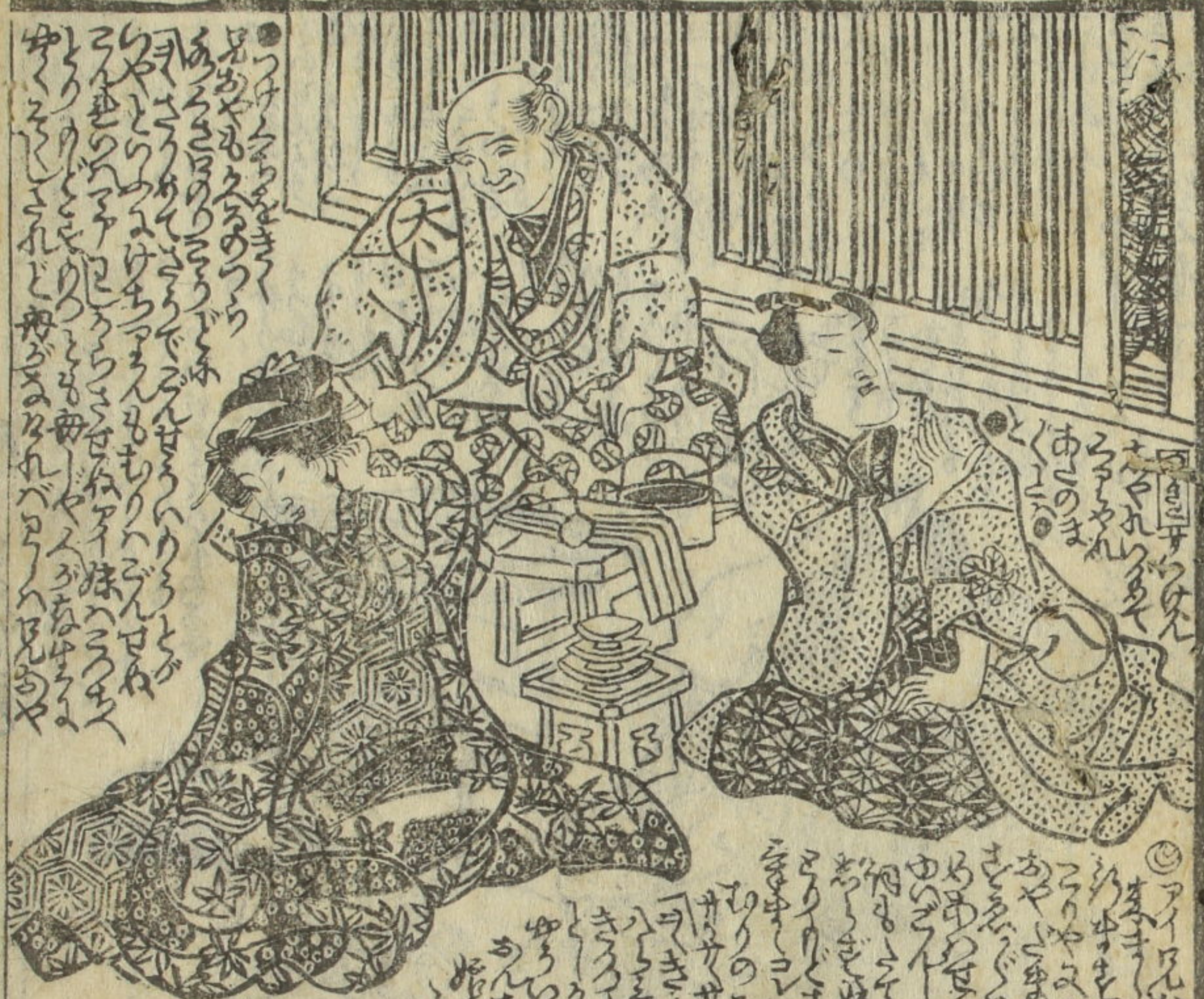
歌倣 舞伎の袖 板看



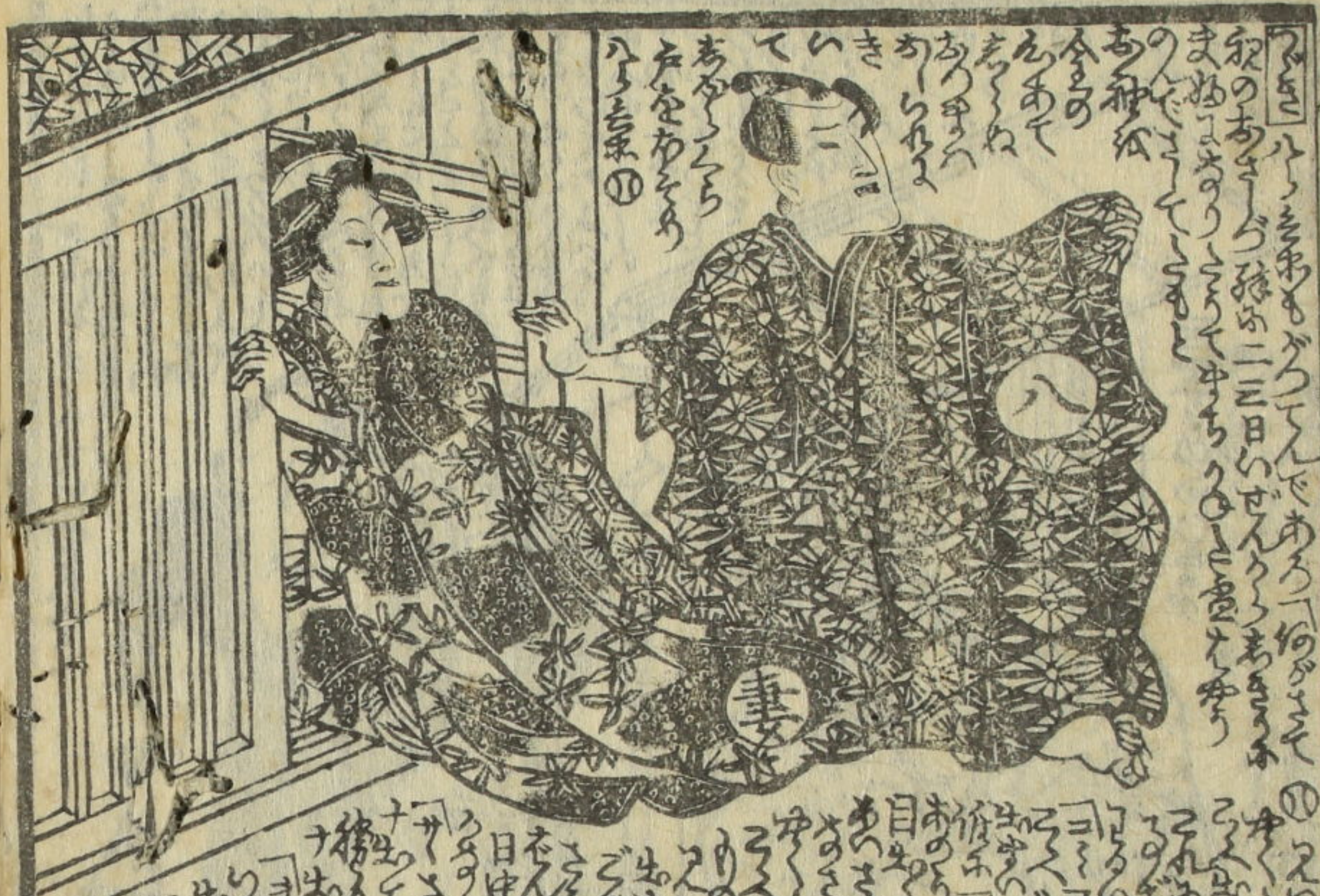
日上輝
 並御機嫌...
 中條光...
 合巻...
 式部三馬...
 歌倣...
 舞伎の袖...
 板看...



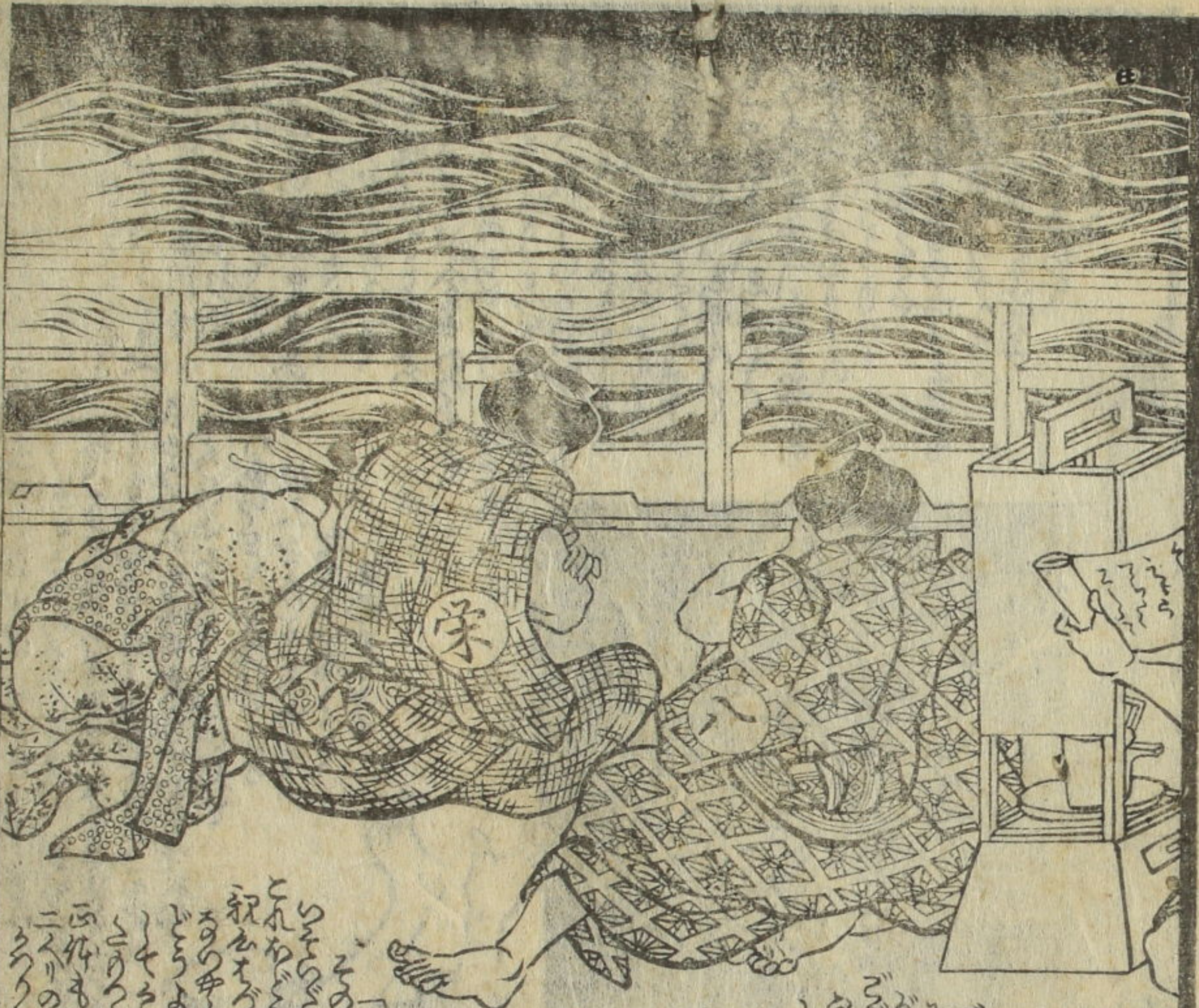




アイをいかにうつけぬ
 ままをいかにうつけぬ
 つげをいかにうつけぬ
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...



おのれをいかにうつけぬ
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...



この世の中に... (Vertical Japanese text block below the illustration on the left page)



この世の中に... (Vertical Japanese text block below the illustration on the right page)

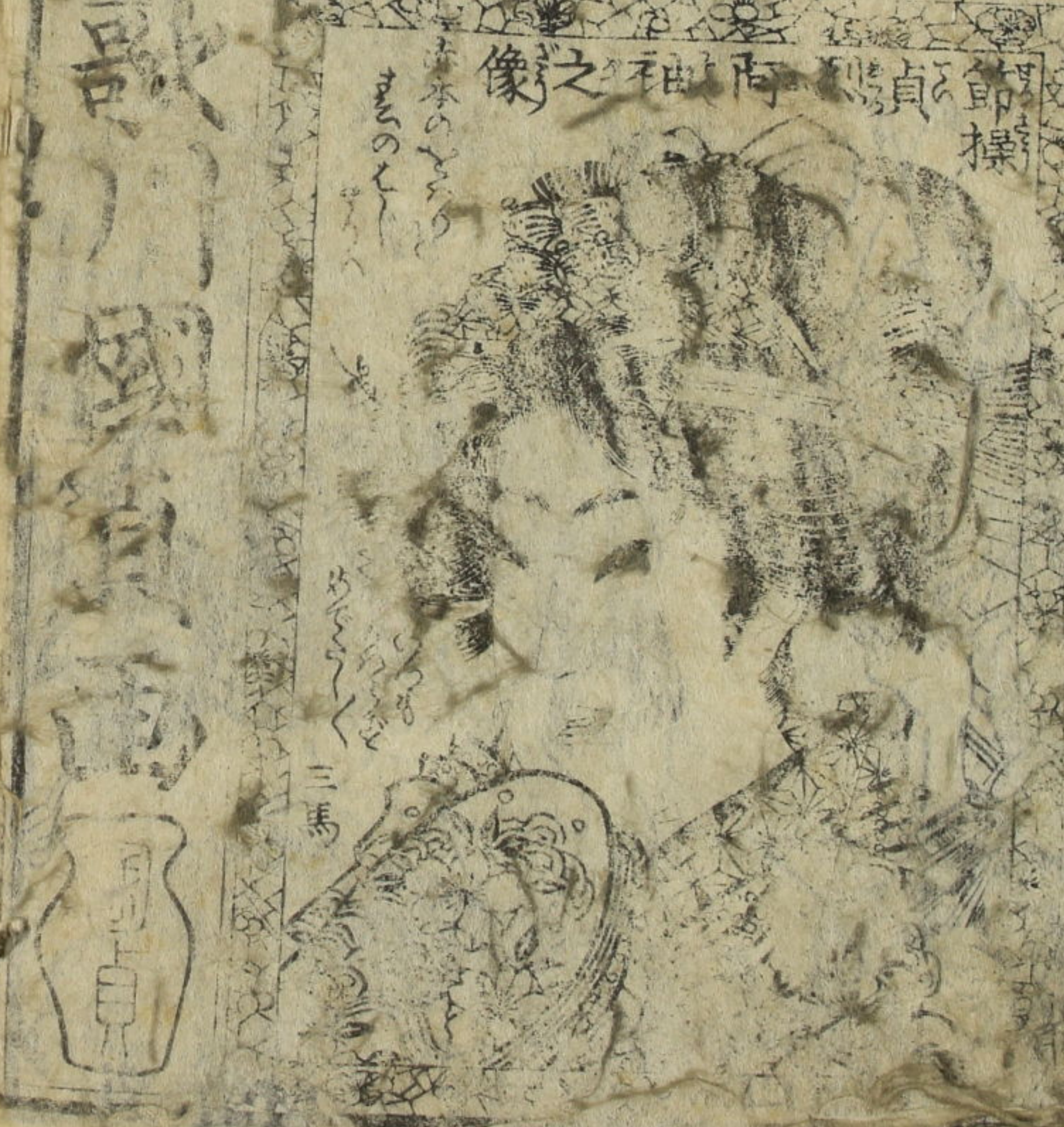
58

回録目板新春戌壬年二久文回

大寶御江戸圖	重榮御江戸繪圖	子宝延命袋	與奉公出世双六	武家奉公出世双六	振合女役替双六	春遊將棊双六	倭文庫出世双六
極上摺奉書六枚半續	奉書四枚半續	紅摺金冊	同	同	同	同	同
		歌川芳玉	同	同	同	歌川貞房	刀亭應賀
		畫作	畫作	畫作	畫作	畫作	畫作

武家奉公出世双六

龍樹散 三十六文 一切あり
 天女丸 百三十五文
 小兒百日甘の奇薬 代百文
 金勢丸 百文
 百文五十五文



歌川貞房
 陽齋豊國

